

第4章 教育施策の展開

8 教育関係施設整備の推進

施設 8-1 学校教育関係施設

◇新中学校建設による中学校適正配置の推進

新中学校建設について、28年度から移転場所、規模、建設費用、スケジュール等の具体的な検討を行う。

◇竜東学校給食センターの改修

- 1 案 東伊那小学校に新センターを建設し、竜東地区分を賄う。
- 2 案 下平地区に新センターを建設し、竜東地区分を賄う。
- 3 案 南センターで東中学校分を賄う、東小学校に新センターを建設し、中沢小、東伊那小分を賄う。

◇赤穂中学校施設整備（生徒玄関、図書室外）

◇耐震化の推進

- ・東中学校特別教室棟、体育館吊天井、施設非構造部材の落下防止対策

【平成 28 年度事業】

- | | |
|------------------------------|--------|
| ① 中沢小学校体育館吊り天井耐震対策工事（落下防止対策） | 28,200 |
| H27 東伊那小学校、H29～ 南小学校、赤穂小学校 | |
| ② 東中学校特別教室棟建設事業実施設計 | 10,000 |
| H29 本体工事 | |

施設 8-2 保育関係施設

◇保育園・幼稚園整備計画の策定と整備の推進

施設整備に関する基本的な考え方

- ・公立保育園・幼稚園のうち、6園が昭和56年以前（旧耐震基準）以前の建物であり、耐震補強等老朽化施設の計画的な整備（新築・改築・改修）
- ・児童数の減少から、施設の再配置や増加する未満児保育への対応
- ・公立保育園の整備に対する財源の確保が難しく、補助制度のある民間による保育園整備
- ・3カ年実施計画において、具体的な方向付けができるよう検討

◇公立幼稚園の「保育園」への移行及び未満児保育対応のための施設整備
※大綱の「認定こども園への移行」を変更し、下平幼稚園を保育園へ移行

【平成 28 年度事業】

- ① 経塚保育園・子育て世代活動支援センター建設 306,255
- ・ H26～28 総事業費 792,000
 - ・ 木造平屋、延床 1,500 m²、H28 年 8 月竣工、10 月開園予定
- 経塚保育園 定員 120 人（現在と同規模）
- 木のぬくもりが感じられる木造建築
 - 自然エネルギー活用（ペレットボイラー、太陽光発電）
- 子育て世代活動支援センター
- 子育て支援室や一時預かり、病後児保育を集約
 - 子育て世代の活動拠点として整備
- ② 飯坂保育園一時預かり施設の未満児施設整備 3,000

施設 8-3 地域自立支援施設

◇「つくし園」運営の検討（民間委託・広域化）

- ・「中間教室」拡充、移転の検討（伊南桜木園との調整）

施設 8-4 社会教育施設

◇赤穂公民館の改修方針の決定（改修計画の策定）

- ◇文化、社会教育施設の集約化の検討
- ◇博物館収蔵庫の検討
- ◇文化財維持保存のための修繕

【平成 28 年度事業】

- ① 十二天の森の整備・活用 109,809
- ・ 十二天の森用地取得 H27～28 H28=88,829
 - ・ 十二天の森公園整備 20,000
 - ・ 駒ヶ根版自然保育・外遊びの推進 980

施設 8-5 文化関係施設

◇総合文化センター関係施設の修繕計画

- ◇地域の文化・芸術活動推進の場としての小ホール設置の検討

【平成 28 年度事業】

- ① 文化会館大ホール天井版の耐震化改修実施設計 2,400
H29 本体工事
- ② 郷土館改修事業 3,000
 - ・駒ヶ根高原「幸せの森」整備事業 1,000
 - ・一般改修 2,000

施設 8-6 社会体育施設

◇多目的グラウンドの整備（人工芝グラウンド）

◇市民体育館の改修（完了）

【平成 28 年度事業】

- ① アルプスドーム人工芝化事業 53,000
人工芝（サンドグラウンド）2,500 m²